住宅用床点検口

HNH-K/KP

取扱説明書

●本取扱説明書は施工後、お客様にお渡しください●

お客様へお願い
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

■お客様が商品をより安全にご使用いただくために、事故を回避するための注意事項を記載しています。必ず守ってください。
■お読みになったあともすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

⚠注意

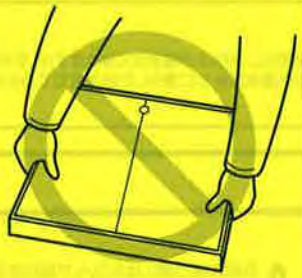
この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

使用上の注意と禁止事項

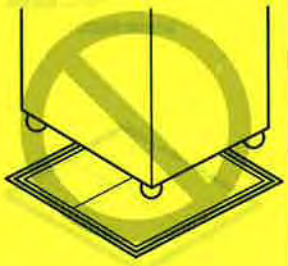
⚠注意

●蓋が落下して足や手をはさまれないように注意してください。
●蓋の開閉時には周りに充分注意して事故のないよう気をつけてください。特にお子様はご注意ください。



内蓋を開閉するときは、必ず取手を持ってください。手をはさまれるなどのケガの原因になります。

内蓋をはずす時、半開きの状態にしないでください。蓋が落下する恐れがあります。



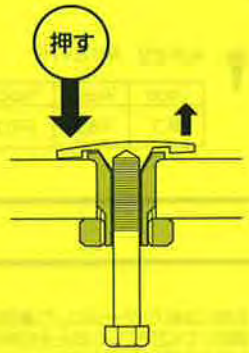
重量物を蓋の上に乗せたり、飛び跳ねたりしないでください。

点検口を開けたままで、その場を離れないでください。人が落下する危険があります。

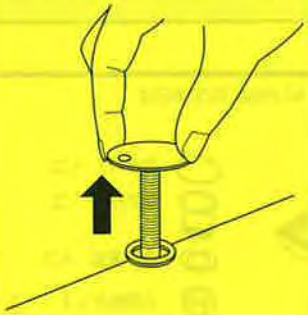
内蓋は段差のないようしっかりとはめてください。つまずいて転倒し思わぬケガの原因になります。

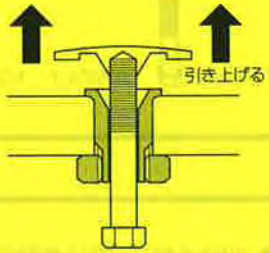
内蓋のはずし方

1 取手の丸印を指で押すと、反対側が上がり隙間ができます。

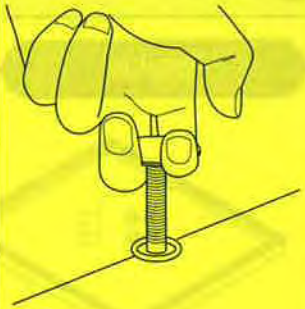


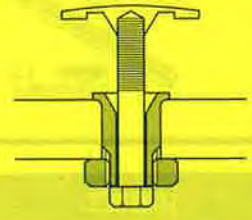
2 隙間に指を入れて、つまみを引き上げます。



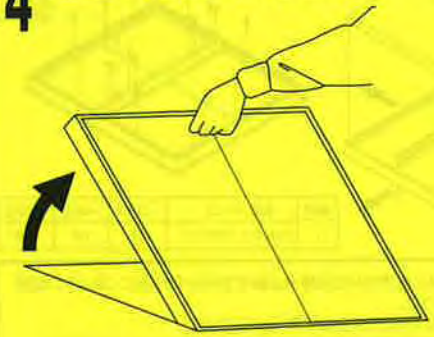


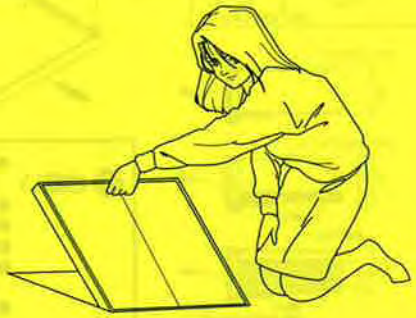
3 取手を持ち替えて、指をしっかりと掛けます。





4 そのままつまみを持ち上げて、内蓋を開きます。





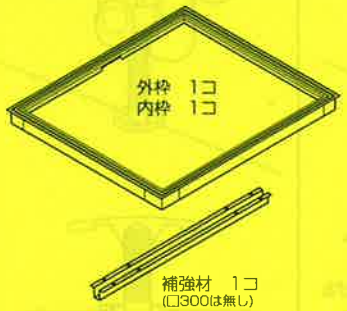
住宅用床点検口
HNH-K/KP

施工要領書

お願い 本施工要領書及び裏面の取扱説明書は施工後、必ずお客さまにお渡しください。

梱包内容

※( )内は□600を示す

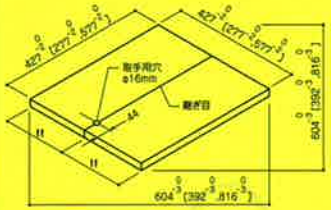


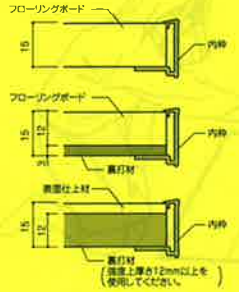
- 取手(1) 1コ
- 取手(2) 1コ
- 波形座金 1コ
- 六角低ナット 1コ
- 六角ボルト 1コ
- 十字穴付特皿小ネジ M4×30 4(6)コ
- 固定金具 4(6)コ
- 丸木ネジ 呼3.8×13

□300	□450	□600
8コ	18コ	26コ

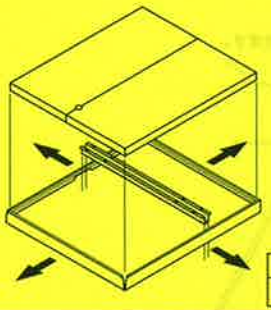
内蓋施工

1 内蓋用床材を切断します。
[ ]内は□300·□600を示す

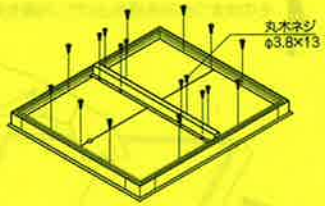




2 内枠を拡張して、床材と補強材を入れてください。



3 外枠にはめて(ゲージにして)裏面から固定してください。このとき内枠の角に段差や隙間、ズレが無いようにして固定してください。



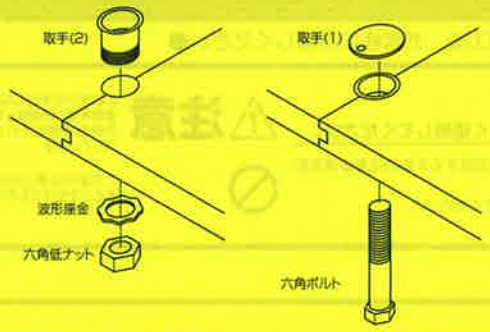
備考	名称·サイズ	□300	□450	□600
1	丸木ネジ 3.8×13	8	18	26

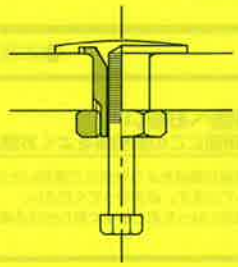
お願い
- 床仕上材に継ぎ目がある場合は継ぎ目が中心付近にくるように切断してください。
- 補強材は内枠の切欠き部に挿入してください。
- 床仕上材の継ぎ目は補強材と直角になる様にセットしてください。
- 固定するときコーナー部に隙間があかないように注意してください。
- HNH-KPタイプ(高気密ハッチ)は高い気密性を発揮するために床材の継ぎ目を接着してください。
- 左上の寸法427$^{0}_{-3}$は425~427を意味します。この範囲を超えて切断した場合、製品に不具合が生じる場合があるので注意してください。

取手の取付け

1 取手(2)を床材の穴に固定します。
※波形座金を忘れずに入れてください。

2 取手(1)とボルトを組立てます。

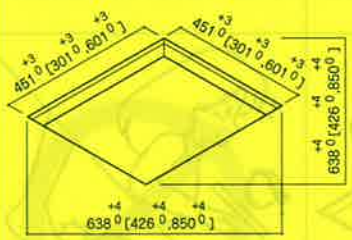



取付状態断面図

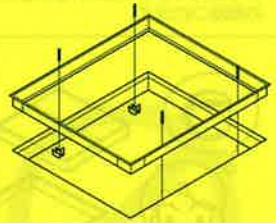
お願い
- ボルト組立後48時間でネジロックが硬化し、ボルトが緩まなくなりますが、その前にボルトを回転させると、ネジロックの効果が低下します。又ボルトのネジロック塗布部を水に濡らしたまま組立てるとネジロックの効果が低下しますのでご注意ください。

外枠施工

1 床材を切り抜いてください。
[ ]内は□300·□600を示す。

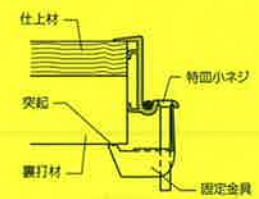


2 外枠を開口部にはめ込んで固定金具で固定してください。
(□600は6カ所)

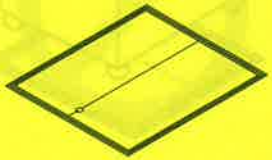


仕上材と裏打材の厚さの合計が35mm以下の場合、ニッパーなどで折り曲げをノッチ部より切り取ってください。

25~34mm	切り取る
35~45mm	そのまま



取付状態(断面図)


取付状態図

お願い
- 床材を切り抜いて床目体の強度が低下する場合は床を補強してください。
- 固定金具の締付けは突起が裏打材の裏面にくい込むように固定してください。
- 床材の平面が出ていなかったり、固定金具の締付けが不十分だったりして、外枠(特にコーナー部)と床仕上材の間に隙間が出来た場合思わぬケガの原因となりますので隙間のないように施工してください。
- 左上の寸法451$^{+3}_{0}$は451~454を意味します。この範囲を超えて切断した場合、製品に不具合が生じる場合があるので注意してください。